

13 厚生連 佐渡総合病院

■ 病院概要

■ 開設者名 新潟県厚生農業協同組合連合会 代表理事 菊池 正緒
 ■ 病院長名 佐藤 賢治

■ 標榜診療科目
 内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、
 整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、皮膚科、
 泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、放射線治療科、リハビリテーション科、
 歯科、歯科口腔外科、麻酔科 (計25科)

■ 使用許可病床数	使用許可病床数	一日平均入院患者数
一般	350床	324.1人
感染症	4床	0人

■ 一日平均外来患者数 1,092.5人 ■ 医師数 常勤 33人 非常勤 11.7人
 ■ 年間手術件数 2,251件 ■ 年間出産件数 442件
 ■ 病院併設施設 さど訪問看護ステーション、佐渡看護専門学校、介護老人保健施設さど
 ■ 救急告示病院の指定 有
 ■ 学会指定施設の状況

日本内科学会、日本循環器学会、日本呼吸器学会、日本神経学会、日本整形外科学会、日本眼科学会、日本脳神経外科学会、日本プライマリーケア学会、日本消化器外科学会、日本外科学会、日本糖尿病学会、日本乳癌学会、日本脳卒中学会、日本周産期、新生児学会、日本輸血細胞治療学会、日本人間ドック学会



所在地 〒952-1209 新潟県佐渡市千種161
 TEL 0259-63-3121 (代表) FAX 0259-63-6349 HPアドレス <http://www.sadosogo-hp.jp/>

Access



● 佐渡汽船新潟港より両津港まで 高速船(ジェットfoil)で65分、カーフェリーで2時間30分
 ● 佐渡汽船両津港より金井まで バス:本線相川行き→金井下車 約27分(金井バス停より徒歩7分)

照会先
 総務課 林 順一 総務課 医局事務 山本
 TEL 0259-63-6348 (総務課直通)
 FAX 0259-63-6349
 E-mail soumu@sado-hp.jp

病院見学の受入 随時
 申込方法
 希望の日時を、少なくとも1週間前には、総務課 林までご連絡ください。(TEL:0259-63-6348)

研修概要 研修プログラムの目的と特徴 (平成30年度研修医)

- 目的
 豊富な症例を経験する中で臨床医になるために必要な基本的知識・技術・態度・コミュニケーション能力を習得すると共に、地域(離島)の特殊性や患者背景を考慮に入れた総合的かつ全人的な診療をおこなえるようになる。
- 特徴
 1. 自由度の高いプログラム(プログラムの運用に柔軟性を持たせる)を作成し、それぞれの研修医にあったオーダーメイドの研修をおこなう。
 2. 豊富な症例を研修する中で、初期救急に加え、三次救急やヘリ搬送など重症疾患への対応も研修する。
 3. 離島という地域特性を生かした地域・僻地医療の研修を行う。また、希望に応じて新潟大学医学総合病院において専門分野の研修も可能とする。
 4. 他施設・大学や他科の医師・研修医との交流を通じ、視野を広める。

■ 研修のスケジュールの例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	OR 1週間	内科 7ヶ月						選択必修(2科目) 2ヶ月		救急/3ヶ月 (当院/2ヶ月、北里大学/1ヶ月)		
2年次	地域医療/2ヶ月 (市立病院・診療所等)		選択(1~3科目を選択) 10ヶ月									

- 協力病院・協力施設
 厚生連真野みずほ病院(精神科)、北里大学救急救命センター(三次救急)、新潟大学医学総合病院(麻酔科・心臓血管外科他)、佐渡市立両津病院、厚生連羽茂病院、赤泊診療所など
- 研修医の待遇 (平成30年度研修医)
 1年次月額 基本給 : 400,000円
 当直手当 : 20,000円
 臨床研修医特別手当 : 40,000円
 時間外研修手当 : 50,000円
 離島手当 : 100,000円
 月額平均 計 : 610,000円
 賞与は月額手当で支給
 2年次月額 基本給 : 430,000円
 当直手当 : 40,000円 ※月2回まで 超えた場合は1回10,000円加算
 臨床研修医特別手当 : 40,000円
 時間外研修手当 : 60,000円
 離島手当 : 100,000円
 月額平均 計 : 670,000円
 賞与は月額手当で支給
 年額10万円以内の個人研修費があります。学会出張等に利用できます。
- 勤務体制 勤務時間
 日直 : 8:30~17:00
 当直 : 17:00~8:30
- 研修医当直 回数 (月平均) 3回/月
 当直時の勤務体制 (研修医以外の当直医数) 1人
 (当直研修医数) 1人
 研修1年目では、原則としてファーストタッチは行わない。研修中の診療科指導医が当直の際に一緒に22時まで当直し、救急患者の診療について学ぶ。研修2年目からは当直を行うが、必要に応じて指導医のアドバイスを受け、各専門医と相談して診療を行う。
 内科・小児科・整形外科など専門医の拘束があり、必要に応じて電話にて応援依頼可能。(概ね5分以内に医師住宅あり)
- 研修医の学習環境
 居室 専用の研修医室有
 専用の机有
 仮眠室利用可能
 図書・文献 医局図書室は24時間利用可能
 医中誌Web利用可能
 メディカルオンライン利用可能(ただし、院内利用のみ)
 Up To Date
 インターネット環境 各自の机からインターネット接続可能
- 研修の宿舎の有無など
 宿舎 借上住宅2K以上を用意しています。冷蔵庫・洗濯機・テレビなど病院で一部用意いたします。家賃一部負担有(2,000円~5,000円)
 引越代金全額支給(一部オプションは除く)
 食事 朝食は売店、昼食は職員食堂・売店・夕食は外食・出前又は事前に用意する必要がある
 近隣(約300M離れて)にコンビニエンスストア有

医学生の皆様へ



島だからできる、つながる医療、よりそう医療

平成23年11月1日に新病院が開院しました。これまでは迷路のようであった旧病院の非効率な動線は解消され、新病院は明るく広く働きやすい病院です。屋上には医療連携に欠かせないヘリポートを設置し、放射線治療、RI検査も導入しました。懸念されていた電子カルテ化に伴う一時的な困難もスタッフの努力によって乗り越え、今ではその有用性が定着しつつあります。

当院は地理的に佐渡のほぼ中心部にあり、他の医療機関との緊密な連携のもとに急性疾患、外科的疾患の治療を担当しています。各専門科の協力により総合的、全人的な寄り添う医療を心がけており、疾病予防、専門的治療、リハビリ、介護、福祉にいたるまで、つながる医療をバランスよく学べる環境です。

つながる医療、よりそう医療を共にめざしていただける方々を心からお待ちしています。

オフの過ごし方

佐渡はかつて金銀を産出し全国から集まった貴族、武家、町民文化が漂う深みのある「歴史の島」です。また、天然杉や朱鷺が生き残った「環境の島」、最近ではトライアスロン、朱鷺マラソン、自転車ロングライドなどスポーツイベントが盛んな「健康の島」でもあります。車で10分も走れば自然海岸、溪流、里山、森林の中でリフレッシュできます。自転車クラブはユニホームを着て颯爽と走り、溪流釣り、イカ釣り名人もいます。そして、思わず唖ってしまうような美味しいものを愉しめるのも佐渡の大きな魅力です。



当院における研修プログラムの特徴

- ・ 研修医の希望に応じてオーダーメイドの研修プログラムを作成できる
- ・ 当院は基幹型研修病院であると同時に新潟大学医学総合病院の協力型臨床研修病院として交流がある
- ・ 東京大学医学部附属病院、聖路加国際病院、東京慈恵会医科大学附属柏病院などの研修協力病院となっており、都市部から来島している研修医とも交流できる
- ・ 当院での救急研修(1次、2次)に加えて北里大学救命救急センターでの3次救急研修も可能
- ・ 多くの学会認定施設であり、専門的医療研修ができる
- ・ 関連病院、診療所、訪問看護など、島内関連機関において地域医療研修ができる

